



2022年
1月11日
No.A21-09

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2021年12月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

・12月9日(木)、木内 登英 野村総合研究所 エグゼクティブ・エコノミスト「激変する内外経済・金融情勢」(於：オークラ東京)



<要旨>

講師より、2021年世界経済重要イベントとして4点が挙げられ、そのうえで、岸田政権の経済政策の課題、最近の金融市場の歪みと金融政策正常化の展望、日本銀行の出口戦略、デジタル人民元や人民元通貨圏の可能性について説明があった。

(2) 中東情勢オンライン講演会

・12月1日(水)、酒井 啓子 千葉大学グローバル関係融合研究センター長「9.11後の「対テロ戦争」が生んだもの：IS、内戦、宗派対立」、藤原 帰一 東京大学大学院法学政治学研究科教授「権力の限界－覇権後退の中の世界」(Zoom形式)

<要旨>

講師の酒井先生より、地域大国間での覇権争い、2011年の民衆の反政府抗議運動、中東各国

における軍の役割などについて説明がなされた。講師の藤原先生からは、同時多発テロ事件から20年の世界情勢、アメリカ外交、アフガニスタン米軍撤退などについて説明がなされた。質疑では、アフガニスタン及びイランにおける日本外交の役割やアメリカの中東への再関与などについて質問が出た。



・12月14日(火)、大久保 武 駐レバノン特命全権大使「最近のレバノン危機と地域情勢」(Zoom形式)

<要旨>

講師より、レバノン危機の現状、ヒズボラーの最近の動向、レバノンを巡る地域情勢などについて説明がなされた。質疑では、メディア機関の現状、フランスやイランとの関係、日本企業の役割、シリア難民帰還の状況、イスラエ

ル・アラブ諸国の関係正常化が与える影響、IMF交渉の行方等について多数の質問が出た。



(3) 中東情勢分析：駐日中東大使に聞く
 ・12月21日、「中東情勢分析：駐日中東大使に聞く」(第9回、ギラッド・コーヘン駐日イスラエル国大使閣下)を発行いたしました。是非お手に取ってご覧ください。

※会員の方は無料でご覧いただけます。非会員の方もご購入いただくことが可能です(税込み1100円)。詳細はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/154.html>)

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2021年12月号(2022年1月11日付)
 - 1. イスラエル：イラン牽制の動き
 - 2. イラン：合同軍事演習「偉大なる預言者17」の実施
 - 3. トルコ：アルメニアとの関係改善に向けた動き
 - 4. GCC：マクロン仏大統領の歴訪
 - 5. アフガニスタン：女性の権利に関する「信徒たちの長」特別法令が発出
 - 6. リビア：西部での石油生産停止
- ※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東分析レポートの発行【会員限定】

- ・No.10「UAEの地域外交の動向と展望——イ

スラエル・トルコ・シリアとの関係を中心に——」(12月13日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/)

(3) 中東かわら版の発行

- No.88「トルコ：エルヴァン国庫・財務相の辞任」(研究員 金子真夕、12月2日)
 - No.89「レバノン：レバノン・湾岸アラブ諸国の関係悪化とクルダーヒー情報相の辞任」(上席研究員 金谷美紗、12月6日)
 - No.90「アルジェリア：前倒しの地方議会選挙の暫定結果」(研究員 高橋雅英、12月6日)
 - No.91「UAE・カタール・サウジアラビア：マクロン仏大統領の歴訪」(研究員 高尾賢一郎、12月7日)
 - No.92「UAE：タフヌーン・ビン・ザーイド国家安全保障局顧問のイラン訪問」(研究員 高尾賢一郎、12月8日)
 - No.93「イスラエル・UAE：ベネット首相のUAE訪問」(上席研究員 金谷美紗、12月14日)
 - No.94「チュニジア：憲法改正及び前倒し議会選挙の実施へ」(研究員 高橋雅英、12月14日)
 - No.95「イラン・イスラエル：核合意を巡るウィーン協議の進行に伴うにらみ合い」(研究員 青木健太、上席研究員 金谷美紗、12月20日)
 - No.96「アフガニスタン：OIC臨時外相級会合で人道信託基金の設立が発表」(研究員 青木健太、12月21日)
 - No.97「イエメン：ハサン・イルロー・イラン大使の死亡」(研究員 高尾賢一郎、12月24日)
 - No.98「リビア：大統領選挙の実施延期」(研究員 高橋雅英、12月27日)
- (<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(4) その他の活動

- ・東京外国語大学が開講する単位認定科目「国

際社会をひもとく B／中東諸国の紛争と平和」へ当会研究員が出講した。

- ① 「湾岸諸国の安全保障(1)：湾岸諸国の特殊性」(研究員 高尾賢一郎、12月15日)
- ② 「湾岸諸国の安全保障(2)：ムスリム同胞団から「イスラーム国」まで」(研究員 高尾賢一郎、12月22日)

- ・12月10日(金)、研究員 青木健太「アフガニスタン(7)」*日本記者クラブで会見を行った。
- ・12月13日(月)、研究員 高橋雅英「リビア・マグリブ情勢とエネルギー動向」*石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)の情勢ブリーフへ出講した。

3. その他

(1) 要人往来

- ・1日、岸田首相はトルコのエルドアン大統領と電話会談した。
- ・2日、林外相はイランのアブドゥルラヒアーン外相と電話会談した。
- ・23日、林外相はヨルダンのサファディー外相と電話会談した。

(2) 外務省人事

- ・12月2日(木) 発令
オマーン大使 山本条太

4. 1月の予定

- ・1月13日(木)、8:30~10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(森 健良 外務事務次官)「2022年の日本外交の展望」*法人会員限定
- ・1月28日(金)、16:00~17:30、中東情勢オンライン講演会(天寺 祐樹 駐リビア臨時代理大使「国政選挙をめぐるリビア情勢」)(Zoom

形式)

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。